

# 目次

## I 令和2年度男女共同参画社会の形成の状況

特集 コロナ下で顕在化した男女共同参画の課題と未来	3
第1節 コロナ下で顕在化した男女共同参画の課題 ～就業面～	8
第2節 コロナ下で顕在化した男女共同参画の課題 ～生活面～	27
第3節 ポストコロナ時代における男女共同参画の未来	45
第1章 政策・方針決定過程への女性の参画	86
第1節 国の政策・方針決定過程への女性の参画	86
第2節 地方公共団体の政策・方針決定過程への女性の参画	90
第3節 様々な分野における女性の参画	93
第2章 就業分野における男女共同参画	97
第1節 就業をめぐる状況	97
第2節 企業における女性の参画	105
第3章 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）	108
第1節 仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）をめぐる状況	108
第2節 仕事と子育て・介護の両立の状況	112
第4章 地域・農山漁村、防災における男女共同参画	115
第1節 地域・農山漁村における男女共同参画	115
第2節 防災における男女共同参画	121
第5章 教育・研究における男女共同参画	124
第1節 教育をめぐる状況	124
第2節 研究分野における男女共同参画	129
第6章 生涯を通じた男女の健康と高齢者、ひとり親の状況	133
第1節 生涯を通じた男女の健康	133
第2節 高齢者、ひとり親の状況	136
第7章 女性に対する暴力	141
第1節 配偶者等からの暴力の実態	141
第2節 ストーカー行為、性犯罪、子供に対する性的暴力等	147

## II 男女共同参画社会の形成の促進に関する施策

### 第1部 令和2年度に講じた男女共同参画社会の形成の促進に関する施策

はじめに 令和2年度を振り返って	159
第1章 男女共同参画社会に向けた施策の総合的な推進	160
第1節 国内本部機構の強化	160
第2節 男女共同参画の視点を取り込んだ政策の企画立案及び実施等の推進	160
第3節 地方公共団体や民間団体等における取組の強化	161
第2章 男性中心型労働慣行等の変革と女性の活躍	162
第1節 長時間労働の削減等の働き方改革	162
第2節 家事・育児・介護等に男性が参画可能となるための環境整備	163
第3節 男女共同参画に関する男性の理解の促進	164
第4節 ポジティブ・アクションの推進等による男女間格差の是正	164
第5節 女性の活躍に影響を与える社会制度・慣行の見直し	165
第3章 政策・方針決定過程への女性の参画拡大	165
第1節 政治分野における女性の参画拡大	165
第2節 司法分野における女性の参画拡大	166

第3節	行政分野における女性の参画拡大	166
第4節	経済分野における女性の参画拡大	168
第5節	その他の分野における女性の参画拡大	169
<b>第4章</b>	<b>雇用等における男女共同参画の推進と仕事と生活の調和</b>	<b>170</b>
第1節	M字カーブ問題の解消等に向けたワーク・ライフ・バランス等の実現	170
第2節	雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保対策の推進	172
第3節	ポジティブ・アクションの推進等による男女間格差の是正	173
第4節	非正規雇用労働者の処遇改善，正社員への転換の支援	174
第5節	再就職，起業，自営業等における支援	174
<b>第5章</b>	<b>地域・農山漁村，環境分野における男女共同参画の推進</b>	<b>175</b>
第1節	地域活動における男女共同参画の推進	175
第2節	地方創生における女性の活躍推進	176
第3節	農山漁村における政策・方針決定過程への女性の参画拡大	176
第4節	農山漁村における女性が働きやすい環境の整備，意識と行動の変革	177
第5節	男女共同参画の視点に立った環境問題への取組の推進	177
<b>第6章</b>	<b>科学技術・学術における男女共同参画の推進</b>	<b>178</b>
第1節	科学技術・学術分野における女性の参画拡大	178
第2節	女性研究者・技術者が働き続けやすい研究環境の整備	178
第3節	女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成	178
<b>第7章</b>	<b>生涯を通じた女性の健康支援</b>	<b>179</b>
第1節	生涯にわたる男女の健康の包括的な支援	179
第2節	妊娠・出産等に関する健康支援	180
第3節	医療分野における女性の参画拡大	181
第4節	スポーツ分野における男女共同参画の推進	181
<b>第8章</b>	<b>女性に対するあらゆる暴力の根絶</b>	<b>182</b>
第1節	女性に対する暴力の予防と根絶のための基盤づくり	182
第2節	配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等の推進	185
第3節	ストーカー事案への対策の推進	186
第4節	性犯罪への対策の推進	187
第5節	子供に対する性的な暴力の根絶に向けた対策の推進	189
第6節	売買春への対策の推進	191
第7節	人身取引対策の推進	191
第8節	セクシュアルハラスメント防止対策の推進	192
第9節	メディアにおける性・暴力表現への対応	192
<b>第9章</b>	<b>貧困，高齢，障害等により困難を抱えた女性等が安心して暮らせる環境の整備</b>	<b>193</b>
第1節	貧困等生活上の困難に直面する女性等への支援	193
第2節	高齢者，障害者，外国人等が安心して暮らせる環境の整備	195
<b>第10章</b>	<b>男女共同参画の視点に立った各種制度等の整備</b>	<b>200</b>
第1節	男女共同参画の視点に立った社会制度・慣行の見直し	200
第2節	男女の人権尊重の理念と法律・制度の理解促進及び救済・相談の充実	202
<b>第11章</b>	<b>教育・メディア等を通じた意識改革，理解の促進</b>	<b>203</b>
第1節	国民的広がりを持った広報・啓発活動の展開	203
第2節	男女共同参画に関する男性の理解の促進	204
第3節	男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実	204
第4節	女性の人権を尊重した表現の推進のためのメディアの取組への支援等	205
第5節	学校教育及びメディアの分野における政策・方針決定過程への女性の参画拡大	205
<b>第12章</b>	<b>男女共同参画の視点に立った防災・復興体制の確立</b>	<b>206</b>
第1節	防災分野における女性の参画拡大など男女共同参画の推進	206
第2節	復興における男女共同参画の推進	206
第3節	国際的な防災協力における男女共同参画	206

第13章 男女共同参画に関する国際的な協調及び貢献	207
第1節 女子差別撤廃条約等の国際的な規範，国際会議等における議論への対応	207
第2節 男女共同参画に関する分野における国際的なリーダーシップの発揮	207

## 第2部 令和3年度に講じようとする男女共同参画社会の形成の促進に関する施策

第1章 男女共同参画社会に向けた施策の総合的な推進	213
第1節 国内の推進体制の充実・強化	213
第2節 男女共同参画の視点を取り込んだ政策の企画立案及び実施等の推進	213
第3節 地方公共団体や民間団体等における取組の強化	214
第2章 政策・方針決定過程への女性の参画拡大	215
第1節 政治分野	215
第2節 司法分野	216
第3節 行政分野	216
第4節 経済分野	218
第5節 専門・技術職，各種団体等	219
第3章 雇用等における男女共同参画の推進と仕事と生活の調和	220
第1節 ワーク・ライフ・バランス等の実現	220
第2節 雇用の分野における男女の均等な機会と待遇の確保及び各種ハラスメントの防止	222
第3節 積極的改善措置（ポジティブ・アクション）の推進等による 女性の参画拡大・男女間格差の是正	223
第4節 非正規雇用労働者の待遇改善，正規雇用労働者への転換の支援	223
第5節 再就職，起業，雇用によらない働き方等における支援	224
第4章 地域における男女共同参画の推進	225
第1節 地方創生のために重要な女性の活躍推進	225
第2節 農林水産業における男女共同参画の推進	227
第3節 地域活動における男女共同参画の推進	228
第5章 科学技術・学術における男女共同参画の推進	229
第1節 科学技術・学術分野における女性の参画拡大	229
第2節 男女共同参画と性差の視点を踏まえた研究の促進	230
第3節 男女の研究者・技術者が共に働き続けやすい研究環境の整備	230
第4節 女子学生・生徒の理工系分野の選択促進及び理工系人材の育成	230
第6章 女性に対するあらゆる暴力の根絶	231
第1節 女性に対するあらゆる暴力の予防と根絶のための基盤づくり	231
第2節 性犯罪・性暴力への対策の推進	232
第3節 子供，若年層に対する性的な暴力の根絶に向けた対策の推進	234
第4節 配偶者等からの暴力の防止及び被害者の保護等の推進	235
第5節 ストーカー事案への対策の推進	237
第6節 セクシュアルハラスメント防止対策の推進	237
第7節 人身取引対策の推進	238
第8節 インターネット上の女性に対する暴力等への対応	238
第9節 売買春への対策の推進	239
第7章 男女共同参画の視点に立った貧困等生活上の困難に対する支援と 多様性を尊重する環境の整備	239
第1節 貧困等生活上の困難に直面する女性等への支援	239
第2節 高齢者，障害者，外国人等が安心して暮らせる環境の整備	241
第8章 生涯を通じた健康支援	244
第1節 生涯にわたる男女の健康の包括的な支援	244
第2節 医療分野における女性の参画拡大	248
第3節 スポーツ分野における男女共同参画の推進	248

第9章 防災・復興、環境問題における男女共同参画の推進	249
第1節 国の防災・復興行政への男女共同参画の視点の強化	249
第2節 地方公共団体の取組促進	249
第3節 国際的な防災協力における男女共同参画	250
第4節 男女共同参画の視点に立った気候変動問題等の環境問題の取組の推進	251
第10章 男女共同参画の視点に立った各種制度等の整備	251
第1節 男女共同参画の視点に立った各種制度等の見直し	251
第2節 男女の人権尊重の理念と法律・制度の理解促進及び救済・相談の充実	253
第11章 教育・メディア等を通じた男女双方の意識改革，理解の促進	254
第1節 男女共同参画を推進し多様な選択を可能にする教育・学習の充実	254
第2節 学校教育の分野における政策・方針決定過程への女性の参画拡大	255
第3節 国民的広がりを持って地域に浸透する広報活動の展開	255
第4節 メディア分野等と連携した積極的な情報発信	255
第5節 メディア分野等における政策・方針決定過程への女性の参画拡大及び セクシュアルハラスメント対策の強化	256
第12章 男女共同参画に関する国際的な協調及び貢献	256
第1節 持続可能な開発目標（SDGs）や女子差別撤廃委員会など国連機関等との協調	256
第2節 G7，G20，APEC，OECDにおける各種合意等への対応	257
第3節 ジェンダー平等と女性・女児のエンパワーメントに関する 国際的なリーダーシップの発揮	257
 (資料)	
1 男女共同参画社会基本法（平成11年法律第78号）	259
2 女子に対するあらゆる形態の差別の撤廃に関する条約	262
3 令和3年度男女共同参画基本計画関係予算	267
4 令和元年度男女共同参画基本計画関係予算の使用実績	272
5 第5次男女共同参画基本計画における成果目標の動向	275

# 〈図 表 目 次〉

## I 令和2年度男女共同参画社会の形成の状況

### 特 集 コロナ下で顕在化した男女共同参画の課題と未来

I-特-1 図	就業者数の推移	9
I-特-2 図	年齢階級別就業者数の前年同月差の推移	10
I-特-3 図	産業別就業者数の前年同月差の推移	10
I-特-4 図	追加就労希望就業者数の前年同期差の推移	11
I-特-5 図	休業者数の推移	11
I-特-6 図	雇用者数の推移	13
I-特-7 図	雇用形態別雇用者数の前年同月差の推移	13
I-特-8 図	産業別雇用者の雇用形態別割合（令和2（2020）年）	14
I-特-9 図	非正規の職員・従業員に就いた主な理由の前年同期差の推移	14
I-特-10 図	雇用形態別個人年収、雇用形態別個人年収の変化	15
I-特-11 図	完全失業者数の推移	16
I-特-12 図	求職理由別完全失業者数の前年同月差の推移	16
I-特-13 図	非労働力人口の推移	17
I-特-14 表	ひとり親世帯の状況	18
I-特-15 図	離婚件数の推移	18
I-特-16 図	コロナ下の比較：子供のいる有配偶者とシングルマザー （令和2（2020）年7～9月期平均）	19
I-特-17 表	年末に向けての暮らし向き（令和2（2020）年）	19
I-特-18 表	直近1か月間に（世帯が）必要とする食料が買えないことの有無	19
I-特-19 図	女性の収入減少の有無別、家計のひっ迫度 （令和2（2020）年8月調査）	20
I-特-20 図	自身の仕事に当てはまるもの	22
I-特-21 表	業種別コロナ下でストレスを感じやすい仕事度合い	23
I-特-22 表	職種別コロナ下でストレスを感じやすい仕事度合い	23
I-特-23 図	コロナ下でストレスを感じやすい仕事度合い別 第1回緊急事態宣言中（令和2（2020）年4～5月）の心理状況	24
I-特-24 図	2つのグループ間での「コロナ効果」の比較：就業率への効果	25
I-特-25 図	2つのグループ間での「コロナ効果」の比較：休業率への効果	26
I-特-26 図	2つのグループ間での「コロナ効果」の比較：完全失業率への効果	26
I-特-27 図	2つのグループ間での「コロナ効果」の比較：非労働力率への効果	27
I-特-28 図	DV（配偶者暴力）相談件数の推移	28
I-特-29 図	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターの 全国の相談件数の推移	29
I-特-30 図	自殺者数の推移、自殺者数の前年同月差の推移	31
I-特-31 図	年齢階級別自殺者数の前年同月差の推移	32
I-特-32 図	職業別自殺者数の推移	33
I-特-33 図	「無職者」の自殺者数の推移	34
I-特-34 図	「学生・生徒等」の自殺者数の推移	35
I-特-35 図	自殺者数の増減①	36
I-特-36 図	自殺者数の増減②	37
I-特-37 図	同居人有無別自殺者数の前年同月差の推移	38
I-特-38 図	6歳未満の子供を持つ夫婦の家事・育児関連時間の推移 （共働きか否か別）	39

I-特-39図	1日の時間の使い方変化～第1回緊急事態宣言中 (令和2(2020)年4～5月)とそれ以前を比べて～	40
I-特-40図	第1回緊急事態宣言中(令和2(2020)年4～5月)の心理状況	40
I-特-41図	感染症影響下の満足度の変化	41
I-特-42表	令和元(2019)年12月(感染症拡大前)に比べて 不安が増していること(男女別)	42
I-特-43表	令和元(2019)年12月(感染症拡大前)に比べて 不安が増していること(雇用形態別)	42
I-特-44図	家族と過ごす時間の変化と「子育てのしやすさ満足度」・ 「満足度(生活全体)」の変化	45
I-特-45図	3時点でのテレワーク実施率の変化(就業者)	47
I-特-46図	雇用形態別 3時点でのテレワーク実施率の変化・実施回数の変化	48
I-特-47図	配偶者の有無別 3時点でのテレワーク実施率の変化(就業者)	49
I-特-48図	小3以下の子供の有無別 3時点でのテレワーク実施率の変化(就業者)	50
I-特-49図	地域別のテレワーク実施状況の変化(就業者)	51
I-特-50図	地域別 3時点でのテレワークの実施率の変化(就業者)	52
I-特-51図	業種別テレワーク実施率の推移(就業者)	53
I-特-52図	本人年収別 令和2(2020)年12月時点のテレワーク実施状況	53
I-特-53図	会社の従業員規模別 3時点でのテレワークの実施率の変化	54
I-特-54図	テレワークのメリット(テレワーク経験者)	55
I-特-55図	テレワークのデメリット(不便な点)(テレワーク経験者)	56
I-特-56図	テレワークを経験して感じたこと(テレワークを経験した就業者)	57
I-特-57図	テレワークを経験して感じたこと(夫がテレワーク実施者・妻が無業)	58
I-特-58図	テレワークの継続状況別 男性の家事・育児時間の変化の推移(平均値)	59
I-特-59図	今後のテレワーク実施希望 (令和2(2020)年12月時点のテレワーク実施状況別)	60
I-特-60図	今後のテレワーク継続意向(小3以下の子供の有無別)(就業者)	60
I-特-61図	地方移住への関心と理由	62
I-特-62図	居住地の変化	63
I-特-63図	有効求人倍率・新規求人数(職業別)／ 転職求人倍率(職種別)(業種別)	64
I-特-64図	所定内給与額(雇用形態別・年齢階級別)	65
I-特-65図	所定内給与額の推移 (産業別・勤続年数階級別)(職業別・経験年数階級別)	66
I-特-66表	1日の時間の使い方	67
I-特-67図	令和2(2020)年12月時点の介護頻度(介護対象有)	68
I-特-68図	令和2(2020)年12月時点の家事頻度	69
I-特-69図	小3以下の子供有 令和2(2020)年12月時点の家事頻度	70
I-特-70図	家庭内の家事・育児分担の変化(18歳未満の子を持つ親)	71
I-特-71図	家庭内の家事・育児分担の変化と夫婦関係の変化	72
I-特-72図	妊娠届出数の推移	73
I-特-73図	結婚への関心(未婚者)	73
I-特-74図	令和2(2020)年12月時点の幸福度	74

## 第1章 政策・方針決定過程への女性の参画

I-1-1図	衆議院議員総選挙における候補者、当選者に占める女性の割合の推移	87
I-1-2図	参議院議員通常選挙における候補者、当選者に占める女性の割合の推移	88
I-1-3図	国家公務員採用試験からの採用者に占める女性の割合の推移	88

I-1-4 図	役職段階別国家公務員の女性の割合の推移	89
I-1-5 図	国の審議会等における女性委員の割合の推移	89
I-1-6 図	地方議会における女性議員の割合の推移	90
I-1-7 図	地方公務員採用者に占める女性の割合の推移	91
I-1-8 図	地方公務員課長相当職以上に占める女性の割合の推移	92
I-1-9 図	役職段階別地方公務員の女性の割合	92
I-1-10 図	司法分野における女性の割合の推移	93
I-1-11 図	各種メディアにおける女性の割合の推移	94
I-1-12 表	GGI, GII の国際比較	95
I-1-13 図	各分野におけるジェンダー・ギャップ指数	96

## 第2章 就業分野における男女共同参画

I-2-1 図	就業者数及び就業率の推移	98
I-2-2 図	OECD諸国の女性(15~64歳)の就業率(令和元(2019)年)	98
I-2-3 図	OECD諸国の女性と男性の就業率の差(令和元(2019)年)	99
I-2-4 図	女性の年齢階級別労働力率の推移	100
I-2-5 図	主要国における女性の年齢階級別労働力率	100
I-2-6 図	女性が職業を持つことに対する意識の変化	101
I-2-7 図	年齢階級別非正規雇用労働者の割合の推移	102
I-2-8 図	非正規雇用労働者のうち、現職の雇用形態に就いている主な理由が「正規の職員・従業員の仕事がないから」とする者の人数及び割合(令和2(2020)年)	103
I-2-9 図	女性の就業希望者の内訳(令和2(2020)年)	104
I-2-10 図	男女間所定内給与格差の推移	104
I-2-11 図	男女雇用機会均等法に関する相談件数の推移(相談内容別)	105
I-2-12 図	階級別役職者に占める女性の割合の推移	106
I-2-13 図	上場企業の役員に占める女性の割合の推移	106
I-2-14 図	就業者及び管理的職業従事者に占める女性の割合(国際比較)	107
I-2-15 図	起業家に占める女性の割合の推移	107

## 第3章 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)

I-3-1 図	週間就業時間60時間以上の雇用者の割合の推移	109
I-3-2 図	年次有給休暇取得率の推移	109
I-3-3 図	共働き等世帯数の推移	110
I-3-4 図	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に関する意識の変化	111
I-3-5 図	「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方に関する意識の現状	111
I-3-6 図	子供の出生年別第1子出産前後の妻の就業経歴	112
I-3-7 図	出産前有職者の継続就業率(就業形態別)	113
I-3-8 図	男性の育児休業取得率の推移	114
I-3-9 図	介護・看護を理由とした離職者数の推移	114

## 第4章 地域・農山漁村、防災における男女共同参画

I-4-1 図	市区町村における男女共同参画計画策定の割合の推移	116
I-4-2 図	地域における10代~20代の人口に対する転出超過数の割合	117
I-4-3 図	自治会長及びPTA会長に占める女性の割合の推移	118
I-4-4 図	農林漁業就業者に占める女性の割合の推移	119
I-4-5 図	農業委員会、農協、漁協における女性の参画状況の推移	120
I-4-6 図	地方防災会議の委員に占める女性の割合の推移	121
I-4-7 図	消防本部数及び消防吏員に占める女性の割合の推移	122

1-4-8 図	消防団数及び消防団員に占める女性の割合の推移	123
<b>第5章 教育・研究における男女共同参画</b>		
1-5-1 図	学校種別進学率の推移	125
1-5-2 図	社会人大学院入学者数及び女子学生の割合の推移	126
1-5-3 図	大学(学部)及び大学院(修士課程)学生に占める女子学生の割合 (専攻分野別, 令和2(2020)年度)	127
1-5-4 図	本務教員総数に占める女性の割合(教育段階別, 令和2(2020)年度)	128
1-5-5 図	大学等における専門分野別教員の女性の割合(令和元(2019)年度)	128
1-5-6 図	女性研究者数及び研究者に占める女性の割合の推移	129
1-5-7 図	研究者に占める女性の割合(国際比較)	130
1-5-8 図	所属機関別研究者に占める女性の割合(国際比較)	130
1-5-9 図	専門分野別に見た大学等の研究本務者の男女別割合 (令和2(2020)年)	131
1-5-10 図	専門分野別研究者数(令和2(2020)年)	132
<b>第6章 生涯を通じた男女の健康と高齢者, ひとり親の状況</b>		
1-6-1 図	平均寿命と健康寿命の推移	134
1-6-2 図	女性の年齢階級別がん罹患率(平成29(2017)年)	135
1-6-3 図	年齢階級別人工妊娠中絶件数及び実施率の推移	136
1-6-4 図	年齢階級別人口の変化と高齢化率の推移	137
1-6-5 図	65歳以上の就業者数の推移	138
1-6-6 図	母子世帯数及び父子世帯数の推移	138
1-6-7 表	貧困率の国際比較(子供がいる世帯(大人が1人))	139
1-6-8 図	母子世帯及び父子世帯における養育費の受給状況 (平成28(2016)年)	140
<b>第7章 女性に対する暴力</b>		
1-7-1 図	配偶者からの被害経験	142
1-7-2 図	配偶者間における犯罪(殺人, 傷害, 暴行)の被害者の 男女別割合(検挙件数, 令和2(2020)年)	143
1-7-3 図	夫から妻への犯罪の検挙件数の推移	144
1-7-4 図	配偶者からの被害経験のある者のうち誰かに相談した者の割合の推移	145
1-7-5 図	配偶者暴力相談支援センター数及び相談件数の推移	146
1-7-6 図	配偶者暴力等に関する保護命令事件の処理状況等の推移	147
1-7-7 図	ストーカー事案の相談等件数の推移	148
1-7-8 図	特定の相手からの執拗なつきまとい等の被害経験	148
1-7-9 図	特定の相手からの執拗なつきまとい等の被害の相談先(複数回答)	149
1-7-10 図	強制性交等・強制わいせつ認知件数の推移	150
1-7-11 図	無理やりに性交等をされた被害経験等	151
1-7-12 図	児童買春及び児童ポルノ事犯の検挙件数の推移	152
1-7-13 図	人身取引事犯の検挙状況等の推移	152